

## 事業計画書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 NPO 法人新エネルギーをすすめる宝塚の会 (以下、REPT)

1 事業種別	行政提案型 <b>自由提案型</b>
※行政提案型 事業テーマ	(事業種別が行政提案型事業の場合のみ記入)
2 事業名	<b>宝塚のエネルギーの未来を考える市民学習・対話事業</b>
3 事業を行おうとした動機・必要性	<p>近年、エネルギー価格の高騰、気候変動対策、災害時のエネルギー確保、地域経済循環など、エネルギーをめぐる課題は市民生活に直結する重要なテーマとなっています。宝塚市においても、公共施設で使用する電力、市内の再生可能エネルギー、将来的なごみ処理施設の廃熱発電、市民・事業者が保有する太陽光発電などを、地域の中でどのように活かしていくかを市民とともに考えることが重要です。</p> <p>一方で、地域エネルギーの地産地消や地域新電力というテーマは、制度や仕組みが専門的で、市民にとって分かりにくい面があります。そのため、まずは市民が学び、疑問や不安を出し合い、生活者目線で意見を交わす場が必要です。</p> <p>本事業では、市民学習会・市民対話会を通じて、宝塚市のエネルギーの未来について市民が考える機会をつくり、市民の期待・不安・疑問を整理します。</p>

#### 4 事業を行う目的と期待される効果

※審査基準のうち「効果の広域性」「独創性」「継続性」が判断できる内容を含めて記載してください。

本事業の目的は、宝塚市における地域エネルギーの地産地消や再生可能エネルギーの活用について、市民が学び、意見を交わし、今後のまちづくりに活かすことです。

市民学習会では、地域エネルギーの地産地消、再生可能エネルギーの活用、地域新電力の考え方、公共施設での再エネ利用、市民参加の可能性について、専門的になりすぎないよう、市民生活との関係から分かりやすく学ぶ機会を設けます。

市民対話会では、参加者が、電気料金、安定供給、災害時の備え、市の関与、地域内でのお金の循環などについて意見交換を行います。これにより、市民の期待だけでなく、不安や疑問も把握し、今後の政策検討に活かせる市民意見として整理します。

期待される効果は、次のとおりです。

1. 市民が地域エネルギーの地産地消について学ぶ機会が生まれる。
2. 再生可能エネルギーや地域新電力に対する市民の期待・懸念を把握できる。
3. 電気料金、安定供給、市の関与、災害時対応など、市民が不安に感じる点を可視化できる。
4. 宝塚市における今後の地域エネルギー政策の検討材料を市民側から提供できる。
5. 市民団体、地域活動団体、専門家、市民のつながりが生まれる。
6. エネルギーを単なる消費財ではなく、地域課題解決やまちづくりと結びつけて考えるきっかけになる。

本事業は、REPT 会員のみを対象とするものではなく、広く宝塚市民を対象とする公益的な市民学習・対話事業です。

#### 5 申請までの検討経過

当会では、これまで再生可能エネルギーの普及、市民発電、環境学習、地域におけるエネルギーの地産地消に関する活動を行ってきました。

近年、宝塚市においても、再生可能エネルギーの活用、公共施設の脱炭素化、将来的な廃熱発電の活用、市民参加による地域エネルギーのあり方について検討する必要性が高まっていると考えています。

そのため、当会では、宝塚市における地域新電力の可能性について、市民の立場から調査・整理することを検討してきました。

一方で、地域新電力や地域エネルギーの仕組みは専門的な面があるため、市民に分かりやすく伝え、市民の期待や不安を把握する場が必要であると考え、本事業を企画しました。また、市民学習会・市民対話会の実施にあたり、REPT 構成員以外の市民協力者に、グループ対話のファシリテーション、記録整理、アンケート集計等の具体的な役務を依頼し、協力者への謝礼を報償費として補助対象経費に計上することについて、市民協働推進課へ事前確認を行い、可能であることを確認しています。

#### 6 事業の内容

※実施時期、場所、回数、参加予定人員等を含めて具体的に記載してください。

本事業では、以下の内容を実施します。

### 1 市民学習会の開催

地域エネルギーの地産地消、再生可能エネルギーの活用、地域新電力の考え方、公共施設での再エネ利用、市民参加の可能性について、市民に分かりやすく学ぶ機会を設けます。専門的な内容になりすぎないように、市民生活との関係、電気料金、環境、防災、地域経済循環など、身近な視点から説明します。

### 2 市民対話会の実施

市民学習会の後に、参加者同士で意見交換を行います。

主な対話テーマは、次のとおりです。

- 宝塚市内のエネルギーを市内で活かすことについてどう思うか
- 地域新電力や再生可能エネルギーに期待すること
- 電気料金、安定供給、市の関与などについて不安に感じる事
- 市民が参加できる仕組みとしてどのようなものが考えられるか
- 今後さらに知りたいこと、説明してほしいこと

### 3 アンケートの実施

参加者に簡易アンケートを行い、地域エネルギーの地産地消に対する関心、期待、不安、参加意向を把握します。

### 4 市民意見メモの作成

市民学習会・市民対話会・アンケートで把握した内容を整理し、市民の期待と懸念をまとめた市民意見メモを作成します。

### 5 成果の共有

整理した市民意見は、REPT が別途進める宝塚市地域新電力可能性調査の市民意見整理にも反映し、宝塚市における今後の地域エネルギー政策の検討材料として活用します。必要に応じて、市民向けに概要を共有します。

#### 実施時期・場所・回数・参加予定人員

項目	内容
実施時期	令和8年6月～令和9年3月
主な実施時期	令和8年9月～令和8年12月
実施場所	宝塚市内の公共施設、地域利用施設、または市民が参加しやすい会場
実施回数	市民学習会・対話会 1～2回程度、成果共有・意見整理 1回程度
参加予定人員	延べ30～50人程度
対象者	宝塚市民、市内で活動する市民団体、地域活動に関心のある市民、環境・エネルギー・防災・地域づくりに関心のある市民

#### 事業スケジュール

時期	内容
6月～7月	事業準備、学習会・対話会の企画、講師・協力者調整
8月	チラシ・広報準備、参加者募集、アンケート設計
9月～10月	市民学習会・市民対話会の開催
10月～11月	アンケート集計、市民意見メモ作成
11月～12月	宝塚市地域新電力可能性調査への反映
1月～3月	成果共有、補助金実績報告

7 市の担当課との事前協議の経過（事業種別が行政提案型事業の場合のみ記入）

本事業は自由提案型事業として申請するものです。

なお、協力者への謝礼を報償費として補助対象経費に計上することについては、市民協働推進課へ事前確認を行い、市民協力者に対する具体的役務への謝礼であれば補助対象経費として計上可能であることを確認しています。

8 実施する安全対策

本事業は、市民学習会・市民対話会を中心とした屋内型の事業です。実施にあたっては、次の安全対策を行います。

- 参加者が分かりやすい会場案内を行う。
- 会場の定員、避難経路、非常口を事前に確認する。
- 高齢者や子ども連れの参加者にも配慮し、移動しやすい会場配置とする。
- 発言しやすく、特定の意見に偏らない対話の場となるよう、ファシリテーターを配置する。
- 個人情報を含むアンケートを実施する場合は、利用目的を明示し、適切に管理する。
- 写真撮影を行う場合は、参加者に事前に周知し、必要に応じて同意を得る。
- 感染症等の状況に応じて、換気、手指消毒、体調不良者への配慮を行う。